

令和6年度 第4回 学校運営協議会 議事録

1 期 日：令和6年12月2日（月） 17：30～18：30

2 場 所：図書室

3 出席者：委員（校長含む）4名、事務局2名

4 会次第

（1）開会

（2）学校長挨拶

（3）報告・協議事項

①令和6年度学校評価中間評価について

②学校活性化に向けた関係団体及び地域、保護者との連携について

③令和7年度入学希望申請書の提出状況について

④学校紹介ビデオの視聴

（4）諸連絡

5 議事録（○委員、●校長・事務局）

（1）令和6年度学校評価中間評価について

●（重点取組内容・成果指標に係る中間評価について、進捗状況と見通しの説明）

○「日本語指導研修の充実」について、日本語指導を受けている生徒は一人一人の日本語の習得状況が違う。日本語能力試験を受けて現状把握をしてみるのもよいかもしれない。九州の夜間中学に事例があるか聞いてみてはどうか。家族の中だけでは日本語に触れる機会がないので、日常的に日本語を使う環境ができればよいと思う。

○「学力の向上」について、教職員アンケートだけではなく、生徒の学習に対する意欲や授業に対する満足度（「授業は分かりやすいか」）について問う生徒アンケートを実施してみてもよいのではないか。学校生活アンケートを実施されているので、その中で学習に関する項目を追加してはどうか。

○学習に関する生徒アンケートでは、「先生が分かりやすい工夫をしてくれているか（ワークシートの工夫やふりがなの対応等）」という質問をすると指導方法の在り方について評価できるのではないか。

○「心の教育」について、生徒へのいじめアンケートを実施されていると思うので、その結果も評価の材料として記載してよいのではないか。

○「特別支援教育の充実」について、個別の支援計画作成をしているのか。

○生徒数が少ないので、授業では個別対応ができる。支援計画の様式にこだわらず、気づきや保護者からの要望をメモしておき、共有できるようにしておいてはどうか。

(2) 学校活性化に向けた関係団体及び地域、保護者との連携について

●新栄公民館へ「門松づくり」について打診している。地域とのつながりをつくっていききたいが、本校の活動が夜間や土日になるので、時間の調整が難しい。今後、アイデアを出していきたい。

○県立中学校なので地域とつながることが難しい。だからこそ、地域との連携にこだわっていくものよいと思う。

(3) 令和7年度入学希望申請書の提出状況について

●（提出状況の説明）

○外国籍の方はコミュニティをもっており、口コミで広がっていく傾向がある。日本の方とはアプローチが違ってくると思う。生徒の学校生活の様子や成長が口コミで広がっていけば、通ってみたいところという思いも広がっていく。

○中学校で不登校の生徒は通信制高校へ進学する可能性がある。夜間中学を選択するということは学びを取り戻したいという思いがある。現役の中学生を受け入れることは制度的に難しいので、今の制度設計の中で動いていくことになる。佐賀県の外国籍の人口は増えている。関係機関を通じて入学希望者の募集を働きかけていくことになるが、PRしながら待ちのスタンスになる。学校説明会の広報はしているが、周知のための予算が必要だということを県に伝えていく必要がある。

●入学希望者の募集については、県外の夜間中学も厳しい状況にあるようだ。現在、校長会や不登校支援者会議、市町教育員会等へ説明に回っているところである。その中では、学齢生徒の受入れや進路決定の時期が3月末になることが話題になる。

○卒業式を行うことで、夜間中学で学び直しができたことをアピールできると思う。

●2、3年生の中には高校への進学を希望している生徒がいる。本校から高校へ進学した実績を出せると変わってくると考えている。次年度は高校受検に向けたサポートをしていく。

○生徒募集と教職員の確保という点を考えるのであれば、全国の夜間中学の入学要件を調べて、学齢生徒の入学について、市町教委や市町立中学校の校長、中学生の声を積み重ねていき、県の会議に取り上げてもらうようにしていくこともできる。例えば、中学1年生、2年生は地域の学校で学び、中学3年生であれば夜間中学で学べるようにするなども考えられる。しかし、この点については、折り合いの付け方が難しい。今できることは、広報をして認知度を上げていくことではないか。